



<学校教育目標>  
心も体も元気な岡村っ子

**お**もいやりをもち、  
**か**がやく自分を求めて、  
**む**ちゅうになって共に学び  
**み**らいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより R3.10.29 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/> 岡村小学校で検索

## どんどん 変わる 自分で 決める

副校長 船山 道太

10月4日から、一斉登校が再開しました。分散登校の時期は、保護者の皆様のご協力を賜り、GIGA1人1台端末の活用の可能性を広げることができました。この間、子どもたちは、学校内外のネットワーク環境を生かして、できることを、どんどん増やしていきました。また、子どもたちが家庭にいながらにして、登校してきた学校の子もたちと リモートで「朝の会」でつながるといふ試行を行った学級もありました。画面に映る仲間と、教室のみんなが一体化している様子は、とても感動的な光景でした。学習保障として家庭学習のサポートをすることのみならず、普段の授業でも、GIGA1人1台端末は活躍しています。子どもたちの適応力の高さに驚きます。制限があるなかでも、できることはあり、歩みは止めない。子どものよさと可能性を広げられるように、教職員が思考し判断してチャレンジしていきます。私が、今たりないと感じることは、まだまだ、大人が引っ張っているところです。どんどん変わるこの時代の中で、学校は、子どもたち自身が、いよいよ主人公となり、問題を解決し、突破していく様々な経験を積めるような場所になっていかなければなりません。

分散登校という制限がなくなり、ようやく岡村オリンピックへ向けての準備が始まりました。地域・来賓の皆様には、参観をご遠慮いただきましたこと、申し訳ございません。明日、開催予定の岡村オリンピック 2021 は、時短、プログラムの縮小、また、参観者・参観場所の制限等、感染症対策を行った上で、開催をいたします。健康被害を引き起こすことがないようなマスクの扱い方、声の出し方、また、距離の保ち方等にも、気を配る必要があります。呼吸が激しくなる運動時には、マスクを外すよう声かけをしています。義務付けはできません。練習の様子を見ていますと、マスクを着用して運動している子どもたちが多く見とれます。新規感染者が、減少傾向にあるなかではありますが、マスクを着用することが、コロナ禍の生活様式として、子どもたちに強く習慣化されていることに気づかされます。また、この岡村オリンピックについても、子どもたちが真の意味で主人公になるためには、子どもたちが、思い・願いをもって取り組み、様々な人とかかわる中で、心揺さぶられる実感を伴った行事となるかどうかです。係の活動をはじめ、目の前のことに、どのように取り組んでいるか。子どもたちの表情、動きを、ご覧ください。そして、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただいて 実現することに感謝しています。

多くの保護者の方には、これまで目にされたことはないと思われませんが、「学習指導要領」という冊子がございます。教科・領域ごとに また、発達段階に応じて、目標、内容、また、求められる学び方等、国がおよそ10年規模で、目指す教育の在り方を提示したものです。「小学校 学習指導要領」の前文の一部に、次のようなことが、書かれていましたので、最後にご紹介します。「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」とあります。夢と希望のある素晴らしい理念です。子どもたちがみな、自分のよさを実感でき、「やればできるじゃないか」、「がんばった自分、えらい」、「今日はいままではいかなかったけど、次こそはできそうだ」、「もっと うまくできるようになりたいな」と自分の可能性を信じて、生きていけるような学校づくりを目指します。

岡村小の学校教育目標は「心も体も元気な岡村っ子～思いやりをもち、輝く自分を求めて、夢中になって、ともに学び、未来をつくっていく子～」です。ここ岡村の子どもたちが、自分のよさを認識し、自分の可能性を信じて行動している姿を具現化できるよう今後も、応援をお願いいたします。